

除雪機
による

事故を防ごう!

人がいる時は 使わない!

作業中は、絶対にまわりに
人を近づけない。



雪かき棒を 使って!

雪詰まりを取り除く時は、エンジンを
止めて必ず雪かき棒を使う。



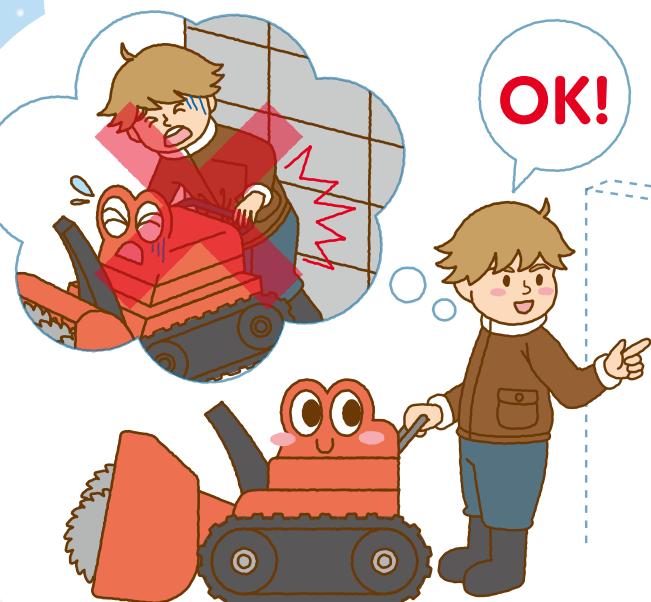
エンジンを掛けた まま離れない!

作業の時以外は、
必ずエンジンを止める。



後方注意!

後進する時は、足もとや
後方の障害物に気をつける。



使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく使用してください。

除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、
普及に努めています。

除雪機安全協議会 <http://www.jfmma.or.jp/jyoankyo.html>

(事務局:(一社)日本農業機械工業会)

除雪機安全協議会

検索

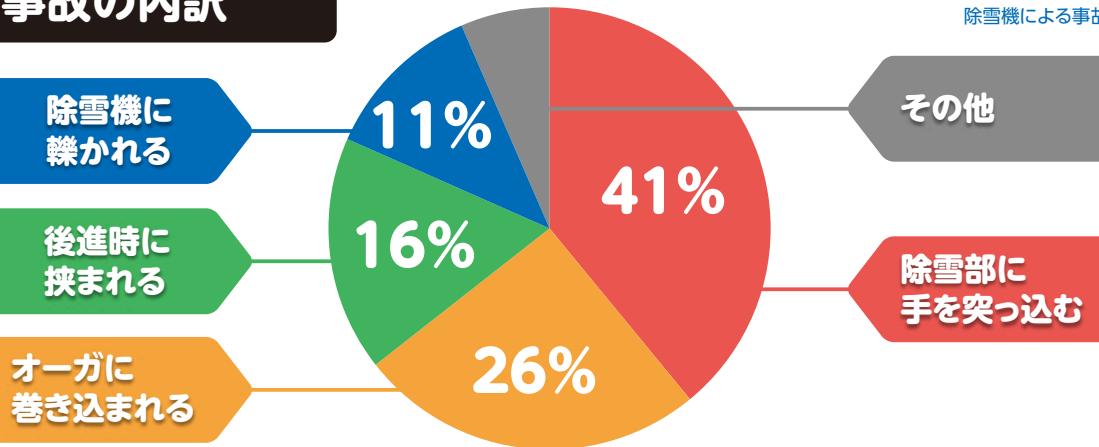


除雪機を安全にお使い頂くために

歩行型ロータリ除雪機使用中の4大事故要因

事故の内訳

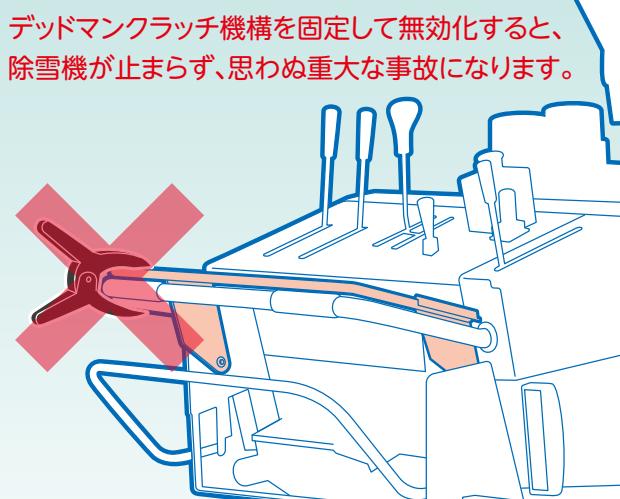
出典:消費者安全調査委員会 報告書
(令和元年5月31日公表)
除雪機による事故の件数より



除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

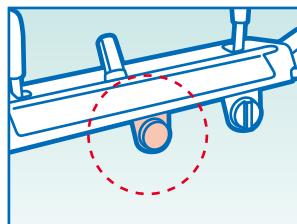
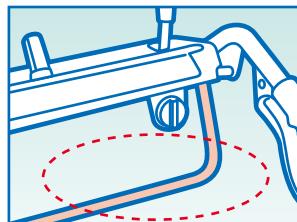
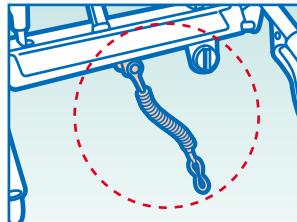
除雪機を安全にお使い頂くために

※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。



デッドマンクラッチ機構

手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。



緊急停止クリップ

作業時には必ずクリップを体に付けてください。クリップを体に付けておけば、機械から離れた時に停止させることが出来ます。

緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。

緊急停止ボタン

ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。



注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- エンジンを止めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づく時は、必ずエンジンを止める。
- 後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は、絶対にまわりに人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。
- 定期点検を行う。特に安全機構が正常に動作するかを確認する。
- 古い機械(平成16年4月以前)にはデッドマンクラッチ機構が装備されていない機種もあります。



「除雪機をご使用の際には、各市町村で決められたルールに従って除雪作業を行ってください」